

表 記 便 覧

平成19年6月

(平成14年10月作成)

東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課

文章の表記について

1 現行の表記のよりどころ

常用漢字表（昭和56年）
送り仮名の付け方（昭和56年）
改訂現代仮名遣い（昭和61年）

現在の国語施策の基本が明らかにされた。

※ 公用文における漢字使用等について（昭和56年）

○ 一般社会生活における目安、よりどころとしての位置付けである。

「当用漢字表」「現代かなづかい」の時代には、規範、準則としての性格であった。

〔常用漢字表について〕

- 前書き ① この表は、法令、公用文書、新聞、雑誌、放送など、一般の社会生活において、現代の国語を書き表す場合の漢字使用の目安を示すものである。
- ② この表は、科学、技術、芸術その他の各種専門分野や個々人の表記にまで及ばそうというものではない。
- ③ この表は、固有名詞を対象とするものではない。
- ④ この表は、過去の著作や文書における漢字使用を否定するものではない。
- ⑤ この表の運用に当たっては、個々の事情に応じて適切な考慮を加える余地のあるものである。
- 1945字を掲げ、字体、音訓、語例等を示している。
- いわゆる当て字や熟字訓など、主として1字1字の音訓として挙げにくいものを「付表」として示している。ここに掲載されているものは、文章の表記として認められており、使用することができる。

2 問題の見られる文章表記

(1) 横書きにかかわる問題

- ① 横書きの文章では、句点は「。」、読点は「，」及び「、」を用いる。
- ② 数字の表記 ・アラビア数字を用いる。(例) 第2学年4組 100万円 52億4千万本
※ ただし、千、百は例えば「5千」「3百」としないで、5000、300と書く。
・次のような場合には、漢数字を用いる。(例) 一部分、一般、一間(ひとま)

(2) 文の表現にかかわる問題

- ① 事物を列記するときは「・」を用いる。
- ② 時及び場所の起点を示すには、「から」を用いて「より」を用いない。
- ③ 「たり」の使い方 ・「たり」が1回しか使われないことが多い。
・「たり」が2回以上使われても、間違っていることもある。
(例) 一生懸命勉強したり、ボール投げをしたりして遊んだ。

(3) 仮名表記か漢字表記か。

- ① 次のような副詞及び連体詞は、原則として漢字を用いる。
(例) 甚だ 全く 専ら 大いに 殊に 互いに など。
※ ただし、次の副詞は原則として仮名で書く。 かなり ふと やはり よほど
- ② 次のような接続詞は、原則として仮名で書く。
(例) おって かつ したがって ただし ついては ところが ところで また ゆえに
※ ただし、次の語は漢字で書く。 及び 並びに 又は 若しくは
- ③ 接尾語は、原則として仮名で書く。(例) 私ども 大きめ かわいげ
- ④ 「御」の使い方 ・御+漢字の場合—御指導、御飯、御中などを使用する。
・ごあいさつ、ごべんたつ(「挨拶」「鞭撻」と漢字でかけないので)
・接頭語の「お」は常に仮名で書く。—お祝い、お礼
- ⑤ 「はいふ」について 「予算の配付」のみ「配付」を使う。その他はすべて「配布」を使う。したがって、印刷物を配る場合は、相手の如何を問わず「配布」となる。

あ			暖かい (日、気候)
あい あいさつ あいづち あいにく あいまい あう あえて あきらか あくる あげる あさって あした あす あたたかい	<ul style="list-style-type: none"> ・合い 合い言葉、合いの手 ・合 合図、合間 ・相 相対する、相席、相手、 ・あいさつ (×挨拶) ・相づち 相づちを打つ ・あいにく (×生憎) ・あいまい (×曖昧) ・合う (計算が) 合う (目が) 合う ・会う (人に) 会う 出会い (×逢う) ・遭う (不測の事故に) 遭う ・あえて (×敢えて) ・明らか ・明くる 明くる日 ・挙げる (例を) 挙げる (全力を) 挙げる ・揚げる (旗を) 揚げる ・上げる (荷物を網棚に) 上げる (～を人に) 上げる ・あげる (～して) あげる ・あさって ・あした ・明日 ・暖かい 	あたって あたり あたる あて あてる あと あとしまつ あまり	<ul style="list-style-type: none"> ・温かい 温かい (心、家庭、水) ・当たって (出発に) 当たって ・辺り この辺り、辺り一面 (場所) ・あたり 顔のあたり、来年あたり、 彼あたりが適任 (場所以外の近い範囲) ・当たり 一日当たり、一人当たり (～につき、の意味) ・当たる (ボールが胸に) 当たる (予報が) 当たる ・あたる 任にあたる、原典にあたる、 魚にあたる、顔をあたる、 つらくあたる ・あて (×宛) 担当指導主事あて、あて名 ・あて (×当て) あてにする、あてはずれ ・充てる (時間を) 充てる (費用に) 充てる ・当てる (胸に手を) 当てる (日に、風に) 当てる ・跡 足の跡、苦心の跡 ・後 後足、後先 ・あと あと一息、あと一人 ・後始末 ・余り 字余り、一時間余り

<p>あらかじめ あらすじ あらわす</p> <p>あらわれる</p> <p>ありかた ありがとう ありさま ある</p> <p>あるいは あわせて</p> <p>あんのじょう あんばい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり あまり好きではない ・あらかじめ (×予め) ・粗筋 ・表す (文章で) 表す (喜びを) 表す ・現す (姿を) 現す ・著す (書物を) 著す ・表れる 喜びが表れる、誠意の表れ ・現れる 太陽が現れる ・あらわれる 名が世にあらわれる (広く知られるの意味) ・在り方 ・ありがとう ・有様 ・有る 財源が有る ・在る 東に在る ・ある ある日の朝 (×或る) ・あるいは (×或いは) ・あわせて (接続詞的に) ・併せて 併せて (～を) 祈る ・合わせて (調子を) 合わせて ・案の定 ・あんばい (×按配、塩梅) 	<p>いうまでも ない</p> <p>いかが いかなる いかん</p> <p>いきいき いぎ</p> <p>いきがい いきがかり いきづまる</p> <p>いく</p> <p>いくつか いくら</p> <p>いささか いし</p>	<p>(あえて) 言えば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いう (～と) いうもの なんという～ ・言うまでもない ・いかが (×如何) ・いかなる (×如何なる) ・いかん いかんともしがたい ・生き生き ・意義 (言葉の表す内容) 人生の意義 ・異義 (異なった意味) 同音異義語 ・異議 (異なった意見) 異議を唱える ・生きがい (×生き甲斐) ・行き掛かり ・行き詰まる (先へ進めない) ・息詰まる (息が詰まる) ・行く (学校へ) 行く ・いく 実施していく ・幾つか ・幾ら (全部で) 幾らか 幾度、幾多、幾夜、幾重 ・いくら いくらか元気になる いくら考えても分からない ・いささか (×聊か、些か) ・意志 意志が強い、意志を貫く、 自由意志、意志薄弱 ・意思 意思表示 (気持ち・思いの意味のとき は、「意思」を用いる)
<p>しう</p>			
<p>いいわけ いう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言い訳 ・言う 		

いしぎづけ	・意識付け	いちずに	・いちずに
いずれ	・いずれ (×何れ) いずれにしても いずれも	いちだんと	いちずに思いつめる ・一段と 一段とよい眺めだ
いたす	・致す 不徳の致すところ 致し方ない ・いたす お願いいたします	いちどきに	・いちどきに いちどきにはできない
いたすら	・いたすら (×悪戯)	いちはやく	・いち早く (×逸早く)
いたすらに	・いたすらに (×徒に)	いちばん	・一番 一番でゴールに入る 一番うれしい
いただく	・いただく (～して) いただく ・頂く (物を) 頂く (×戴く) ⇒常用外	いちめん	・一面 一面的、空一面
いたむ	・痛む 傷口が痛む、腰が痛む ・傷む 家が傷む、傷んだ果物 ・悼む 死を悼む ・いたむ 心がいたむ (精神的・心理的にきずつく の意味)	いつ	・いつ いつも、いつか、いつごろ
いたる	・至る 東京に至る (具体的地点に到着のとき) ・いたる 今にいたるまで 事ここにいたって いたるところに いたって元気だ	いっかげつ	・1か月
いちいち	・いちいち いちいち文句ばかり言う	いっかん	・一貫 終始一貫して ・一環 学校教育の一環として
いちおう	・一応 一応知らせておく	いっこう	・一向 一向構わない
いちじ	・一時 一時金、一時停車	いっさい	・一切 一切の費用、一切を任す 一切関知しない
		いっしょ	・一緒
		いっしん	・一心 一心不乱に勉強する
			・一身 一身に引き受ける 一身上の問題
		いっそう	・一層
		いったい	・一体 一体全体、 ・いったい いったいどうしたのか
		いったん	・いったん (×一旦) いったん決めたことは～
			・一端 研究の一端
		いっばい	・いっばい

<p>いま</p> <p>いまさら</p> <p>いまだ</p> <p>いまに</p> <p>いや</p> <p>いりまじる</p> <p>いれかえる</p> <p>いれかわる</p> <p>いろいろ</p> <p>いわかん</p> <p>いわば</p>	<p>(課題が) いっぱいだ</p> <ul style="list-style-type: none"> 一杯 時間一杯、水を一杯 今 今行く、今はもう秋 いま いま一度、いま少し 今更 今更のように いまだ (×未だ) ※ まだ いまに いまに大きくなる 嫌 嫌だ、嫌がる、嫌気 入り交じる 入れ替える 入れ替わる (立場が) 入れ替わる いろいろ (×色々) 違和感 (×異和感) いわば 	<p>うながす</p> <p>うなづく</p> <p>うまい</p> <p>うむ</p> <p>うめる</p> <p>うらみ</p> <p>うらやむ</p> <p>うる</p> <p>うれい</p> <p>うわつく</p> <p>うわづみ</p> <p>うわばき</p>	<p>スクリーンに映す</p> <ul style="list-style-type: none"> 移す 座席を移す 促す うなづく (×頷く) うまい 食事がうまい (美味の意味) うまい サッカーがうまい 歌がうまい (上手の意味) 生む (結果を) 生む 産む (卵を) 産む 埋める 「うずめる」は「うずめる」と表記する。 うめる お湯をうめる 恨み 恨みつらみを話す うらみ 説得力に欠けるうらみがある うらやむ (×羨む) 得る ～し得る 憂い 後顧の憂い (心をいたため、気づかうこと) 愁い 愁いを帯びた瞳、秋の愁い (ものさびしく、心のうかないこと) 浮つく 上積み 上履き
<p>う</p>	<ul style="list-style-type: none"> 伺う 教育長のお考えを伺う 明日三時に伺う (聞く・訪問するの意味) うかがう 顔色をうかがう 受け止める 後ろ うち 朝のうちにやってしまう 打ち合わせ、打合せ 移し替え 写す 書類を写す 映す 	<p>え</p> <p>えいち</p>	<ul style="list-style-type: none"> 英知 (×叡智)

<p>えがお えがく えがたい えぐる えさ えしゃく えせ えてして えとく えりごのみ える えんえん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔 ・描く ・得難い 得難い体験 ・えぐる (×挟る) ・えさ (×餌) 小鳥のえさ ・会釈 ・えせ えせ同和行為を教育委員会に報告する ・得てして ・会得 ・えり好み (×選り好み) ・得る 許可を得る ・獲る 獲物を獲る ・える ～(し)えない、えてして ・延々 	<p>おおげさ おおしい おおぜい おおづかみ おおまか おおむね おおよそ おかあさん おかげ おかす おきかえる おくづけ おくれ おこたる おこなう おさえる おさめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おおげさ (×大袈裟) ・雄々しい ・大勢 ☆多勢 (たぜい) ・大づかみ ・おおまか ・おおむね (×概ね) おおむね満足 ・おおよそ (×凡そ、大凡) ・お母さん ・おかげ (×お蔭、お陰) おかげで助かった ・犯す (過ちを) 犯す ・侵す (境界を) 侵す ・冒す (危険を) 冒す ・置き換える ・奥付、奥付け ・遅れ (進み方が遅い) (列車の) 遅れ ・後れ (先の対語) 気後れ、後れを取る ・怠る ・行う (×行なう) ・おさえる、押さえる (要点を) 押さえる (要点を) おさえる ・押さえる (戸を) 押さえる ・抑える (怒りを) 抑える ・収める 成功を収める、効果を収める ・修める 学業を修める ・納める 品物を納める ・治める 痛みを治める
<p>お</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お お礼、お願い、お手紙 ・生い茂る ・追い付く ・(～に) おいて (×於いて) ・おいで 明日おいでください ・往々 往々にしてあることだ ・おう盛 (×旺盛) ・応対 (×応待) ・押なつ ☆押印 (おういん) ・横柄 ・終える 研修課程を終える ・大いに 		
<p>お おいしげる おいつく おいて おいで おうおう おうせい おうたい おうなつ おうへい おえる おおいに</p>			

おしすすめる	・推し進める	および	・及び 第1学年及び第2学年
おしはかる	・推し量る 気持ちを推し量る	おり	・折 折を見て出掛ける
おす	・押す ベルを押す、念を押す ・推す 会長に推す、推し進める ・おす 病をおして会議に出席する	おりたたみ	・折り畳み
おそらく	・恐らく	おりる	・下りる (階段を) 下りる (幕が) 下りる (許可が) 下りる
おそれ	・恐れ ・おそれ 大雨のおそれがある	おろそか	・降りる (電車を) 降りる (主役を) 降りる
おそわる	・教わる	おわび	・おろそか (×疎か) ・おわび (×お詫び) おわび申し上げます
おちつく	・落ち着く	おんちゅう	・御中
おって	・おって ～は、おって知らせます	おんれい	・御礼 (※ おれい → お礼)
おとうさん	・お父さん		
おとな	・大人	か	
おどる	・踊る (リズムに乗って) 踊る ・躍る (心が) 躍る	か	・箇 箇条書き、五箇条の御誓文 ・か 三か年、五か月
おないどし	・同い年	かいかた	・飼い方
おなか	・おなか (×お腹)	がいこつ	・がい骨 (×骸骨) 頭がい骨 (×頭蓋骨)
おのおの	・各、各々	かいざん	・改ざん (×改竄)
おのずから	・おのずから (×自ら)	がいして	・概して
おのずと	・おのずと (×自ずと)	かいしょ	・かい書 (×楷書)
おびえる	・おびえる (×怯える)	かいてい	・改訂 辞典の改訂 学習指導要領の改訂
おもいやり	・思いやり		・改定 運賃の改定 法律の改定
おもしろい	・面白い、おもしろい	かいとう	・解答 模範解答、試験の解答
おもて	・表 ・面 矢面に立つ		・回答 アンケート調査の回答
おもな	・主な		
おもむろに	・おもむろに (×徐に、徐ろに)		
おももち	・面持ち		
おもわく	・思惑		
おもわせぶり	・思わせ振り		
およそ	・およそ (×凡そ)		

かいもく かう	回答を求める ・皆目 ・交う 行き交う、飛び交う		計略にかかる 病気にかかる (×罹る) 寄りかかる 時間がかかる
かえす	・帰す、帰る (家に) 帰す ・返す、返る (本を) 返す ・かえす (×反す) おもちをかえして焼く てのひらをかえす		泥水がかかる 声がかかる かぎがかかる 鼻にかかった声 くっかかる 通りかかる 保険がかかる
かえって かえりみる	・かえす (×孵す) ひなをかえす ・かえって (×却って) ・省みる (行動を) 省みる ・顧みる (昔を) 顧みる	かかわる	・かかわる 教育にかかわる 病気にもかかわらず つまらぬことにかかわる
かえる	・変える (観点を) 変える ・代える (あいさつに) 代える ・換える (新品と) 換える ・替える 差し替える、替え歌	かきとめる かぎり	・書き留める ・限り 今日限り、限りない力 ・かぎり 私の関知するかぎりではない 仕事があるかぎり帰れない 謝らないかぎり許さない
かかり かかる	・係 ・係る (生死に) 係ること ・掛かる (迷惑が) 掛かる ・懸かる (優勝が) 懸かる ・架かる (橋が) 架かる ・かかる かかる重大なこと かかる問題では~ ・かかる 魚が網にかかる	かく	・書く 文字を書く ・かく 絵をかく、図をかく ・かく 頭をかく 雪をかく かゆいところをかく いびきをかく あぐらをかく
かかり かかる		かくして かけ	・かくして (×斯くして) ・陰 (隠れて見えない) 物陰、陰口、陰であやつる ・影 (形、物の) 面影、影絵、人影 ・~掛け 三人掛けの椅子 ・掛け替え
		~がけ かけがえ	

かけっこ かげん	掛け替えのない命 ・駆けっこ、かけっこ ・加減 加減乗除 ・かげん お湯かげん、少しかげんする かげんがいい		土の塊、脂肪の塊 ・かたまり 欲のかたまり
かさ	・傘 ・かさ 電灯のかさ、まつたけのかさ すげがさ、月のかさ (×笠、暈) ・かさ 水かさ、かさばる、 出費がかさむ (×嵩)	かたよる	・偏る 栄養が偏る ・片寄る 隅に片寄る 人口が大都会に片寄る
かしよ かすかに かする	・箇所 ・かすかに (×微かに) ・科する 罰則を科する ・課する 義務を課する	かたわら	・傍ら 母の傍らで過ごす ・かたわら 勉強のかたわら部活動もする
かぜ かぞえる かた	・風邪 ・数える ・型 (手本、パターン) 型にはまる、大型、血液型 ・形 (すがた、フォーム) 自由形、波形、手形	かつ かつこう かつて かなう	・かつ、且つ ・格好、かつこう ・かつて ・かなう 目的にかなう
かたい	・固い (緩いの対語) 固い決意、団結が固い 頭が固い ・硬い (軟らかいの対語) 硬い表現、硬い木 ・堅い (確実、もろいの対語) 口が堅い ・難しい (易しいの対語) 許し難い	かなづかい かならず かなり かねて かねる	・仮名遣い ・必ず ・かなり ・かねて かねて承知していた ・兼ねる 大は小を兼ねる 監督とキャッチャーを兼ねる ・かねる 言い出しかねる 見るに見かねる
かたくな かたづける かたほう かたまり	・かたくな (×頑な) ・片付ける ・片方 ・塊	かまう がまん かむ かよう から がら からす	・構う ～しても構わない ・我慢 ・かむ (×噛む、噛む) ・通う 似通う ・空 空っぽ、空回り ・柄 柄が大きい 気に入らない柄 ・枯らす

からむ	植物を枯らす ・からす (×噎らす) 声をからして叫ぶ		(春夏秋冬に区切られたそれぞれの月日)
かり	・絡む 様々な要素が絡む		・期 学期、前期後期、夏期講習会 (一定の尺度で区切りを定めたそれぞれのまとまった月日)
かれら	・仮 仮にも、仮寝、仮住まい	きうん	・機運 機運が熟する、 機運が盛り上がる (時のめぐりあわせ、チャンス)
かわいい	・彼ら ※ 僕ら、君ら		・気運 天地の気運 戦争回避が世界の気運 (そうなりそうな気配、時勢のなりゆき)
かわいがる	・かわいい		・機縁 (機会、きっかけの意味)
かわいそう	・かわいがる	きえん	・奇縁 (不思議な縁)
かわいそう	・かわいそう		・着替える
かわく	・乾く 乾いた土	きがえる	・気掛かり、気懸かり
	・渴く のどが渴く	きがかり	・気構え
かわす	・交わす 意見を交わす、話を交わす	きがまえ	・気管 (呼吸器官の一つ) 気管が弱い、気管支炎
	・かわす 身をかわす、体をかわす	きかん	・器官 (生物の組織の一つ) 消化器官
かわり	・代わり 君の代わりに ※ 代わる代わる		・機関 (装置・組織の意味) 関係機関、内燃機関、 交通機関、金融機関
かんあん	・勘案 ～を勘案して	ききかえす	・聞き返す
かんがみる	・かんがみる (×鑑みる) 事情をかんがみて	きく	・聞く (一般的に聞くこと) 話し声を聞く
かんちがい	・勘違い		・聴く (改まったり、特に注意したりして聴くこと) 音楽を聴く、講義を聴く
がんばる	・頑張る		・きく 疑問点についてきく (質問するの意味) 親のいいつけをよくきく 願いをきく、命令をきく
かんぺき	・完ぺき		口をきく
がんばる	・岸壁 岸壁に立つ、岸壁の母 (海の)		わさびがきく
	・岩壁 岩壁に登る (山の)		
かんよう	・肝要 ～が肝要である		
き			
き	・季 季節、四季、夏季休業日		

	見晴らしがきく	きみたち	・君たち
	・効く	きめ	・きめ
	葉が効く		月ぎめ (×月極)
	宣伝が効く	きめつける	・決め付ける
	・利く	きめて	・決め手
	機転が利く、左利き	きもち	・気持ち
きくばり	・気配り	きやくちゅう	・脚注 (×脚註)
きげん	・機嫌	きゃしゃ	・きゃしゃ (×華奢)
きざし	・兆し	きゆうきよ	・急きよ (×急遽)
きしょう	・記章	きゆうだん	・糾弾
	学校の記章	きゆうはく	・窮迫 (困りきる)
きずな	・きずな (×きづな、絆)		財政が窮迫
	親子のきずな		・急迫 (差し迫る)
きせい	・規制		急迫した事態
	行動を規制する	きょう	・今日
	・規正		今日中、今日じゅう
	政治資金規正法	ぎょうぎょう	・仰々しい
	・既成 (存在)	しい	
	既成事実、既成概念	きょうだん	・教壇
	・既製 (製品)	ぎょうてん	・仰天
	既製品、既製服	きょうどう	・共同
きたす	・来す		共同で使う、共同募金
	失敗を来す		・協同 (特に力をあわせる意味を 強調するとき)
きだて	・気だて		協同一致、生活協同組合
きたる	・来る	きょうはく	・脅迫
	来る〇月には		脅迫罪、脅迫状
きたんなく	・忌たんなく (×忌憚なく)		・強迫
	忌たんのない意見		強迫概念
きづかい	・気遣い	きょうべん	・教べん (×教鞭)
きっかけ	・きっかけ	きょうよう	・共用 (共同で使う)
きづく	・気付く		共用部分、共用電話
きのう	・昨日		・供用 (他人に供する)
きはん	・規範、軌範		施設の供用、供用禁止
きまずい	・気まずい	きょうみ	・興味津々
きまり	・決まり	しんしん	(×興味深々)
	決まりを作る	きりかえ	・切り替え、切替え、切り換え
きみ	・気味	きりかえす	・切り返す
	気味がいい、気味が悪い		質問を切り返す
〜ぎみ	・〜ぎみ	きわ	・際
	風邪ぎみ、疲れぎみ、		

きわめる	別れ際、際立つ ・極める (極限、最高) 山頂を極める ・究める (探究、追究) 真理を究める ・窮める (突き詰める) 進退を窮める		なくて七癖、癖のある人 ・くせ そう言ってたくせに
きわめて	・極めて	くたく	・砕く 岩を砕く、こなごなに砕く ・くだく 心をくだく、くだいて話す
く		ください	・ください (×下さい) ～してください ・下さい お手紙を下さい
ぐあい	・具合	くだす	・下す 判決を下す、読み下す
くい	・悔い 悔いを残す	くだもの	・果物
くう	・食う 肉を食う、食い込む、食い物 蚊に食われる、食い気 ・くう 時間をくう、年をくう、 くいとめる、くいちがい	くだる	・下る 坂を下る、野に下る、 命令が下る、時代が下る、 千人を下らない
くぎり	・区切り、くぎり	くちづて	・くだる 腹がくだる、くだらない考え
くくる	・くくる (×括る)	くちばし	・口づて ・くちばし (×嘴)
くさる	・腐る 食べ物が腐る ・くさる いばりくさる、くされ縁	くちぶり	・口ぶり
くさわげ	・草分け	くつろぐ	・くつろぐ
くしくも	・くしくも (×奇しくも)	くとうてん	・句読点
くじゅう	・苦渋 (心の苦しみ) 苦渋に満ちた顔 ・苦汁 (苦い経験) 苦汁をなめる	くふう	・工夫
くず	・くず (×屑) 木のくず	くみこむ	・組み込む
くずす	・崩す 山を崩す、総崩れ ・くずす ひざをくずす、千円をくずす、 字をくずす、姿勢をくずす	くみたて	・組み立て、組立て
くせ	・癖	くもり	・曇り
		くら	・倉 (倉庫) 倉に納める、倉敷料
		くらい	・蔵 (古風に) 穴蔵、蔵出し、蔵元
		くらし	・位 位取り、位負け
		くらべる	・くらい 今日くらい～
			・暮らし ※ 暮れ、暮れる
			・比べる (×較べる)

くりあわせ	・繰り合わせ 万障繰り合わせて～	けいし	形がい化する
くりかえす	・繰り返す	けいだい	・けい紙 (×罫紙) ※ けい線
くりこす	・繰り越す、繰越す ※ 繰越金	けいはつ	・境内
くる	・来る 人が来る、春が来る	けいべつ	・啓発 (☆ ×啓蒙)
	・くる 過労からくる病気 寒くなってくる 名詞のあとに助詞がくる 必要となってくる	けが	・軽べつ ☆軽侮(けいふ)
くれぐれも	・くれぐれも	けさ	・けが (×怪我)
くろうと	・玄人 ※ 素人 (しろうと)	けさ	・今朝
くわえる	・加える 仲間に加える	けしき	・景色
	・くわえる (×啞える、銜える) えさを口にくわえる	けじめ	・けじめ
くわしい	・詳しい	けずる	・削る
くわだてる	・企てる	けた	・けた (×柀)
くんじ	・訓示 (下の者に心得を教え示す) 訓示をする、社長の訓示	けだかい	・気高い
	・訓辞 (教え諭す言葉) 校長の訓辞	けだかい	・結局
ぐんしゅう	・群衆 大群衆、群衆に紛れる	けつきよく	・結構
	・群集 群集心理、群集する	けっこう	・決裁
くんせい	・くん製 (×燻製)	けっさい	決裁を仰ぐ
け			・決済
け	・気 水気、湿り気、飾り気、 火の気、塩気	けっして	手形の決済
	・け 眠け、寒け、惜しげもなく、 親しげに、若げのいたり、 悲しげ、おぼろげに	けなげ	・決して
けいがい	・形がい (×形骸)	けなげ	・けなげ (×健気)
		けねん	・懸念
		けはい	・気配
		けむい	・煙い ※ 煙る
		ける	・ける (×蹴る)
		げん	・原 (おこり、はじめ) 原作、原始、原点、原典
			・源 (発するもと) 源流、語源、資源
		けんあん	・懸案
		けんお	・嫌悪
		けんか	・けんか (×喧嘩)
		けんさん	・研さん (×研鑽、研鑽) 研さんを積む
		けんそん	・謙そん (×謙遜)
		けんらん	・けんらん (×絢爛) けんらんたる絵巻
		こ	
		ごい	・語い (×語彙)

こうごうしい	・神々しい		期待にこたえる
こうして	・こうして (×斯うして)	こだわる	・こだわる
こうじる	・講じる 施策を講じる	ごちそう	・ごちそう (×御馳走)
こうじん	・幸甚 ～ならば幸甚です	ごちんまり	・ごちんまり
こうたい	・交代、交替	こと	・こと (抽象的な事象の場合) ～することが重要だ
こうちやく	・こう着 (×膠着)		・事 (具体的な事象がある場合) 経験した事を～
こうむる	・被る	ごと	・ごと 日ごと、年度ごと
こえる	・越える (通り過ぎる) 峠を越える ・超える (超過) 五千人を超える聴衆	ことがら	・事柄
こおる	・凍る (×氷る)	ごとく	・ごとく 風のごとく
こくじ	・告示 内閣の告示 ・告辞 学長の告辞	ことごとく	・ことごとく
ごくろうさま	・御苦労さま	ことごとくに	・ことごとくに
ここ	・ここ (×此处)	ことさら	・殊更
ここち	・心地	ことし	・今年
ここのえ	・九重	ことに	・殊に
こころあたり	・心当たり	ことのほか	・殊のほか
こころがまえ	・心構え	ことば	・言葉 言葉遣い
こころづかい	・心遣い	こども	・子供
こころもち	・心持ち 心持ちがいい ・こころもち こころもち右に寄せる	ことわり	・断り 断りの手紙、断りもなしに
こころよい	・快い	ことわり	・ことわり (道理の意味) それもことわりだ
ございます	・ございます (×御座います)	こなごな	・こなごな こなごなに飛び散る
こし	・腰 腰をすえる、腰が低い ・こし けんかごし、こしが強い、 やさしいものごし	このあいだ	・このあいだ
ごぞんじ	・御存じ	このご	・この期 この期に及んで～
こたえる	・答える 問題に答える ・こたえる (×応える)	このごろ	・このごろ
		このさい	・この際
		このたび	・この度
		このましい	・好ましい
		ごはん	・御飯
		ごぶさた	・ごぶさた (×御無沙汰)
		こぼれる	・こぼれる
		こまかい	・細かい
		こまごま	・こまごま

こまやか	・こまやか (×濃やか)		
ごみ	・ごみ (×ゴミ、塵、護美)		
ごめん	・御免 御免ください	さいご	かにすること ・裁決 (法律上の争いについて、 処分を明らかにすること)
こやす	・肥やす ※ 肥える		・最後 (いちばんあと) 最後のチャンス
ごようおさめ	・御用納め ※ 御用始め	さいしょう	・最期 (死に際) 最期の時、みごとな最期
ごらん	・御覧 御覧ください		・最小 (最大の対語) 最小限、最小公倍数
	・ごらん 書いてごらん	さいちゅう	・最少 (最多の対語) 最少年齢、最少の損害
こりる	・懲りる	さいちゅう	・最中
ころ	・ころ (×頃) このごろ	さいてい	・最低 (×最底) (最高の対語)
ころもがえ	・衣替え	さいわい	・幸い
こわい	・怖い (×恐い)	さがす	・捜す (見えなくなったものを) 紛失物を捜す
こわす	・壊す 建物を壊す、ガラスを壊す		・探す (ほしいものを) あら探し、空き家を探す
	・こわす 腹をこわす、体をこわす 話をこわす、テレビがこわれる	さかな	・魚 川の魚
こんとん	・混とん (×混沌)		・さかな 酒のさかな
こんにち	・今日 今日の教育の課題	さかのぼる	・さかのぼる (×遡る)
こんにちは	・こんにちは (あいさつ)	さがる	・下がる ぶら下がる
こんばん	・今晚 今晚は寒い	さきほど	・先程
こんばんは	・こんばんは (あいさつ)	さく	・割く (分割) 時間を割く、紙面を割く
こんめい	・混迷 (×昏迷)		・裂く (分裂) 切り裂く、引き裂く
こんりゅう	・建立	さくせい	・作成 (文書の場合など) 書類の作成、計画書の作成
さ			・作製 (物品・道具の場合など) 標本の作製、ブロンズ像の作製
さい	・際 この際、～に際しては	さくそう	・錯そう (×錯綜)
	・歳 十二歳 (×才) (小学校では、「才」で代用する)	さぐる	・探る
さいけつ	・採決 (会議で議事の結果を明ら	さげる	・下げる 値段を下げる、値下がり
			・提げる 手提げかばん

ささいな ささえあう ささやか さしあたり さしえ さしず さし出す さしつかえる さす	<ul style="list-style-type: none"> ・ささいな (×些細な) ・支え合う ・ささやか ・さしあたり ・挿絵 ・指図 ・差し出す ・差し支える ・指す 指し示す、目指す、名指し ・差す 差し上げる、差し替え ・刺す 鼻を刺すにおい、蚊が刺す ・さす 日がさす、花をさす (×射す、挿す) 	さらさら さらに さる さわる	<ul style="list-style-type: none"> ・さらさら そんなつもりはさらさらない ・さらに ～。さらに、～。 ・更に 更に追求した。 ・去る 故郷を去る、職場を去る ・さる 春さり来れば、夕されば (近づくの意味) ・さる さる所に、さる人 (連体詞) ・障る 体に障る、気に障る、さし障り ・触る 物に触る、手触り
さすかに さた さっそく さばく	<ul style="list-style-type: none"> ・さすかに (×流石に) ・さた (×沙汰) ・早速 ・裁く けんかを裁く、人を裁く ・さばく 手綱をさばく、事務仕事をさばく、荷をさばく、魚をさばく、あの人はさばけている (×捌く) 	さわやか ざんき さんざん さんじ ざんまい	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやか ・ざんき (×慙愧) ざんきの念に堪えず ・さんざん さんざんなめに遭う (×散々) ・賛辞 ・ざんまい (×三味)
さびしい さまざま さます さまたげる さらいねん	<ul style="list-style-type: none"> ・寂しい (×淋しい) ・さびしい ふところがさびしい ・様々 ・覚ます 目を覚ます ・冷ます 湯を冷ます ・さます (×醒ます) 酔いをさます ・妨げる ・再来年 ※ 再来月、再来週 	し しあげ しあわせ しいか しいて しおり しかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上げ ・幸せ ・仕合わせ (運命の巡り合わせの意味) ありがたき仕合わせ ・詩歌 ・強いて、しいて ・しおり (×栞) ・仕掛け

	仕掛け花火、仕掛け人		一部始終を語る、始終会う
しかける	・しかけ 機械のしかけ、種もしかけもない	しずまる	・静まる 心が静まる、嵐が静まる
しかし	・しかける けんかをしかける	じせい	・鎮まる 内乱が鎮まる、歯痛が鎮まる
しかた	・しかし しかしながら、 しかし、～ (×然し)		・時世 (移り変わる世の中) 時世に合う
しかたがない	・仕方 ～の仕方		・時勢 (時代の情勢) 時勢に遅れる
	・仕方がない 仕方がないからやめよう 仕方なく引き下がる (やむをえないの意味)	しそこなう	・自制 (抑制、自重) 自制心、自制を求める
じかに	・じかに (×直に)	しだい	・自省 (内省、反省) 自省の念
しかも	・しかも		・し損なう
じき	・時季 (季節・シーズンの意味) 行楽の時季		・次第 式次第、次第によっては
	・時期 (時、折) 早い時期、重大な時期、 時期尚早	したがって	・しだい しだいに大きくなる
しきり	・時機 (チャンス、適当な機会) 時機をうかがう、時機を失う		・したがって (接続詞) ～。したがって、～
しきりに	・仕切り		・ (~に) したがって 月日がたつにしたがって (～につれての意味)
しぐさ	・しきりに	したく	・従って 指示に従って
しこう	・しぐさ (×仕草)	しつけ	・支度
	・施工 (工事を行う) 施工現場	じったい	・しつけ (×躰)
	・施行 (決まったことを実際に行 う) 法を施行する、施行規則		・実体 (本質、本体) 生命の実体
しこう	・志向 (心がある目的に向かう) ブランド志向	じつに	・実態 (状態、情勢) 経営の実態、実態調査
	・指向 (事物がある方向に向く) 指向性マイク	しづらい	・実に
しごく	・至極 残念至極だ、至極上等だ		・しづらい 勉強しづらい
しさい	・子細 (×仔細)	しのぐ	・しのぐ (×凌ぐ)
しじゅう	・始終	しのぶ	・忍ぶ 人目を忍ぶ
		しばふ	・しのぶ (×偲ぶ) 故郷をしのぶ
			・芝生

しばらく しぶしぶ しぼる	<ul style="list-style-type: none"> ・しばらく (×暫く) ・しぶしぶ ・絞る 油を絞る、絞り染め ・しぼる 涙をしぼる、汗をしぼる、 試験範囲をしぼる、先生に しぼられる、音量をしぼる ・搾る 牛乳搾り 	しゅうとく	<ul style="list-style-type: none"> ・衆知 (多くの人の知恵) 衆知を集める ・習得 (学問や技術を身に付けること) 技術を習得する、 漢字を習得する、習得困難 ・修得 (一定の高度な学問・技術を習い終ること) 単位を修得する
しま	<ul style="list-style-type: none"> ・しま (×縞) しまの模様、しま織物 	じゅうぶん しゅうりょう	<ul style="list-style-type: none"> ・十分 (×充分) ・終了 (物事をすべて終わること) 仕事を終了する、終了時刻 ・修了 (一定の課程を終わること) 養成課程を修了、修了証書
しまつ	<ul style="list-style-type: none"> ・始末 書類の始末、後始末、不始末 	しゅうろく	<ul style="list-style-type: none"> ・収録 全集に収録する
しまる	<ul style="list-style-type: none"> ・縮まる ひもが縮まる、戸縮まり ・絞まる 首が絞まる、羽交い絞め ・閉まる 戸が閉まる、店が閉まる ・しまる ひきしまる 	じゅけん	<ul style="list-style-type: none"> ・集録 (集めて記録すること、物) 民話を集録して刊行する ・受験 (試験を受けること) 高校の受験、 国家試験を受験する ・受検 (検査・検定を受けること) 新弟子検査の受検
しめきり	<ul style="list-style-type: none"> ・締め切り、締切り 	しゅし	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨 (ねらい・目的・考え方) 趣旨を説明する
しめる	<ul style="list-style-type: none"> ・占める 大半を占める 	しゅつしよ	<ul style="list-style-type: none"> ・主旨 (中心となる論旨) 話の主旨 ・出所 出所不明 ・出处 出处進退
しやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・しやすい (×し易い) 	しゅび	<ul style="list-style-type: none"> ・首尾 首尾よく、首尾一貫して
しゃりょう	<ul style="list-style-type: none"> ・車両 (×車輛、車輛) 	しゅんこう	<ul style="list-style-type: none"> ・しゅん工 (×竣工)
しゃれ	<ul style="list-style-type: none"> ・しゃれ (×洒落) 	じゅんしゅ	<ul style="list-style-type: none"> ・遵守、順守
しゅうがく	<ul style="list-style-type: none"> ・就学 就学義務、就学年齢 ・修学 修学年限、修学旅行 	じゅんぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・遵法、順法
しゅうきよく	<ul style="list-style-type: none"> ・終局 終局を迎える、碁の終局 ・終極 終極の目的、終極に達する 	しょうかい	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介 (引き合わせる) 友人を紹介する、紹介状
じゅうじゅう	<ul style="list-style-type: none"> ・重々 	じょうきょう	<ul style="list-style-type: none"> ・照会 (問い合わせる) 身元を照会、真偽を照会
じゅうたい	<ul style="list-style-type: none"> ・重体、重態 		
しゅうち	<ul style="list-style-type: none"> ・周知 (広く知れ渡る) 周知の事実、周知のとおり 		<ul style="list-style-type: none"> ・状況 (物事の目に見える有様) 進行の状況、状況判断

しょうしゅう	<ul style="list-style-type: none"> ・情況 (本当の有様) 土地の情況、情況証拠 ・招集 総会を招集する ・召集 国会を召集する 	<ul style="list-style-type: none"> しるべ しろうと しわざ しんきいつてん しんく しんし しんじょう 	<ul style="list-style-type: none"> 手帳に記す、氏名を記す ・しるべ (×標) 道しるべ ・素人 ※ 玄人 ・仕業 ・心機一転 ・深紅 ※ 真紅とも書く ・真し (×真摯) ・心情 心情を理解する ・真情 真情を吐露する ・尋常 ・侵食 領土を侵食される ・浸食 河川が浸食する 風雨に浸食される ・心身 心身を鍛える、心身障害教育 ・心神 心神喪失、心神錯乱 ・深甚 ～に対して深甚なる～ ・人心 人心一新、人心を掌握する ・人身 人身事故 ・親せき (×親戚) ・迅速 ・甚大 ・進ちよく (×進捗) 進ちよく状況 ・真に ・侵入 家屋に侵入する ・浸入 濁水が浸入する ・進入 場内に進入する、進入禁止
じょうず	<ul style="list-style-type: none"> ・上手 ※ 下手 (へた) 		
しょうそう	<ul style="list-style-type: none"> ・尚早 時期尚早 		
じょうたい	<ul style="list-style-type: none"> ・状態 		
じょうだん	<ul style="list-style-type: none"> ・冗談 		
じょうちよ	<ul style="list-style-type: none"> ・情緒 		
じょうちよう	<ul style="list-style-type: none"> ・冗長 冗長な文 	<ul style="list-style-type: none"> じんじょう しんしよく 	
じょうぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・丈夫 		
しょうぶん	<ul style="list-style-type: none"> ・性分 		
じょうろ	<ul style="list-style-type: none"> ・じょうろ (×如雨露←あて字) 		
しょき	<ul style="list-style-type: none"> ・所期 (期待すること) 所期の目的を達成する ・初期 (初めの時期) 江戸時代の初期 	<ul style="list-style-type: none"> しんしん 	
しょくりょう	<ul style="list-style-type: none"> ・食料 食料品店、生鮮食料品 ・食糧 (主食の食べ物) 食糧問題、食糧の欠乏 	<ul style="list-style-type: none"> しんじん じんしん 	
じょくん	<ul style="list-style-type: none"> ・叙勲 		
じょさい	<ul style="list-style-type: none"> ・如才 如才ない 		
じょじょう	<ul style="list-style-type: none"> ・叙情 ※ 「抒情」^{じよ}とも書く 	<ul style="list-style-type: none"> しんせき 	
じょじよに	<ul style="list-style-type: none"> ・徐々に 	<ul style="list-style-type: none"> じんそく 	
しょせん	<ul style="list-style-type: none"> ・しょせん (×所詮) 	<ul style="list-style-type: none"> じんだい 	
しよよう	<ul style="list-style-type: none"> ・所要 (必要のこと) 所要時間、所要の条件 ・所用 (用事、入用のこと) 所用で外出する 	<ul style="list-style-type: none"> しんちよく しんに しんにゆう 	
しるし	<ul style="list-style-type: none"> ・印 目印、印をつける ・しるし 感謝のしるし 		
しるす	<ul style="list-style-type: none"> ・記す 		

しんぴょうせい	・信ぴょう性 (×信憑性) 信ぴょう性に欠ける	すすめる	・進める 会議を進める
じんましん	・じんましん (×蕁麻疹)		・勧める 読書を勧める
じんもん	・尋問 不審尋問		・薦める 候補者として薦める
しんらつ	・辛らつ (×辛辣) 辛らつな批評	すすんで	・すすんで すすんで勉強する
す		ずつ	・ずつ 一個ずつ
すあし	・素足	すてき	・すてき (×素敵)
すいこう	・推こう (×推敲)	すでに	・既に、すでに
すいせい	・すい星 (×彗星)	すなお	・素直
ずいぶん	・ずいぶん、ずい分 (×随分)	すなわち	・すなわち (×即ち)
ずうずうしい	・ずうずうしい (×図々しい)	すばやい	・素早い
すうせい	・すう勢 (×趨勢)	すばらしい	・素晴らしい
すえおく	・すえ置く (×据え置く)	すべ	・すべ (×術)
すえる	・据える 天体望遠鏡を屋上に据える (度胸をすえる・腰をすえる等 は、なるべく仮名。)	すべて	・すべて (×全て、総て)
すがすがしい	・すがすがしい (×清々しい)	ずばし	・凶星
すききらい	・好き嫌い	すまい	・住まい
すきずき	・好き好き	すみか	・すみか (×棲家、住処)
すぎない	・過ぎない、すぎない	すみやか	・速やか
すきま	・透き間 (×隙間)	すむ	・済む 仕事を済ませて～
すぎる	・過ぎる 駅を過ぎる、期限を過ぎる	すりきれる	・擦り切れる
すぐに	・すぐに (×直ぐに、直に)	する	・刷る ガリ版で刷る、校正刷り
すぐれる	・優れる (×勝れる、秀れる) 才能が優れる、品質が優れる		・擦る ひざを擦りむく、 マッチを擦る
すごい	・すごい	するどい	・する (×掏る、摺る、磨る、播る) 財布をする、版画をする 墨をする、ごまをする
ずさん	・ずさん (×杜撰)	すわる	・鋭い
すじ	・筋 筋書き、筋合い、筋違い		・座る いすに座る、座り心地
すずしい	・涼しい	すんか	・すわる 腹がすわる
			・寸暇

せ		せつとう	<ul style="list-style-type: none"> ・窃盗
せいいつぱい	<ul style="list-style-type: none"> ・精一杯 	せつな	<ul style="list-style-type: none"> ・せつな (×刹那)
せいかく	<ul style="list-style-type: none"> ・正確 正確な解答、正確な発音 	せつに	<ul style="list-style-type: none"> ・切に
	<ul style="list-style-type: none"> ・精確 精確な機械、精確に測量する (細かな分まで間違いがないの 意味) 	せつぱん	<ul style="list-style-type: none"> ・折半
せいきよ	<ul style="list-style-type: none"> ・逝去 	ぜひ	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜひ ぜひお出かけください
せいぎよ	<ul style="list-style-type: none"> ・制御 	せりあう	<ul style="list-style-type: none"> ・競り合う
せいこん	<ul style="list-style-type: none"> ・精根 (精力と根気) 精根尽きる 	せんえつ	<ul style="list-style-type: none"> ・せん越 (×僭越)
	<ul style="list-style-type: none"> ・精魂 (生きることを続けさせる 中心の力) 精魂を傾ける、精魂を込めて 	せんさく	<ul style="list-style-type: none"> ・せん索 (×詮索)
せいさん	<ul style="list-style-type: none"> ・清算 (すべてを数えて後始末を すること) 借金の清算、過去を清算する 	ぜんじ	<ul style="list-style-type: none"> ・漸次
	<ul style="list-style-type: none"> ・精算 (くわしく計算する⇔概算) 運賃の精算、精算所 	ぜんしん	<ul style="list-style-type: none"> ・前進 (前に進む) 一歩前進
せいさん	<ul style="list-style-type: none"> ・成算 (成功する見通し) 成算がある 	ぜんそく	<ul style="list-style-type: none"> ・漸進 (段階的に徐々に) 改革が漸進する
せいさん	<ul style="list-style-type: none"> ・せい惨 (×凄惨) 	せんどう	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜん息 (×喘息)
せいしゆく	<ul style="list-style-type: none"> ・静肅 ※ 厳肅 	せんべん	<ul style="list-style-type: none"> ・扇動
せいせい	<ul style="list-style-type: none"> ・清々 清々とした気分 	せんべん	<ul style="list-style-type: none"> ・先べん (×先鞭)
ぜいたく	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜいたく (×贅沢) 	せんぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・せん望 (×羨望)
せいちょう	<ul style="list-style-type: none"> ・生長 植物の生長 	せんぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・先ぼう (×先鋒)
	<ul style="list-style-type: none"> ・成長 (植物以外の成長) 人の成長、経済成長 	ぜんぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・全ぼう (×全貌)
せいとん	<ul style="list-style-type: none"> ・整とん 	せんもん	<ul style="list-style-type: none"> ・専門 (×専門)
せかす	<ul style="list-style-type: none"> ・せかす (×急かす) 	せんゆう	<ul style="list-style-type: none"> ・占有
ぜがひでも	<ul style="list-style-type: none"> ・是が非でも 	せんりつ	<ul style="list-style-type: none"> ・戦りつ (×戦慄)
せきばらい	<ul style="list-style-type: none"> ・せき払い (×咳払い) 	せんれん	<ul style="list-style-type: none"> ・洗練
せく	<ul style="list-style-type: none"> ・せく (×急く) 		
せっかく	<ul style="list-style-type: none"> ・せっかく (×折角、切角) 		
ぜったい	<ul style="list-style-type: none"> ・絶体絶命 		
ぜつめい			

ぞうきん	・雑きん (×雑巾)		・そそぐ
ぞうけい	・造けい (×造詣) 音楽に造けいが深い	そち	汚名をそそぐ
そうじ	・掃除	そつ	・措置
そうぞうしい	・騒々しい		・そつ
そうそうたる	・そうそうたる そうそうたる顔ぶれ	そっけない	そつがない
そうてい	・装丁	そっせん	・素っ気ない
そうとう	・相当 それ相当、重役相当	そっちょく	・率先
	・そうとう そうとうな心臓	そなえる	・率直
そうめい	・そう明 (×聡明)		・供える
そえる	・添える 手紙を添えて渡す		お供え物、神仏に供える
	・そえる 手をそえる	そのほか	・備える
そえん	・疎遠	そぶり	老後に備える、台風に備える
そがい	・阻害 (さまたげる) 発達を阻害する	そばく	・そなえる
	・疎外 (のけ者にする) 疎外感、自己疎外	そまつ	徳をそなえている
そくせい	・促成 促成栽培	そもそも	・その外
	・速成 通訳を速成する	そらす	・素振り
	・即製 即製料理		・素朴
そくだん	・速断 速断にすぎた、速断を要する	それゆえ	・粗末
	・即断 即断即決、即断を下す	そろえる	・そもそも
そくばく	・束縛	ぞんぶん	・そらす
そこなう	・損なう		大事な話をそらす
そしゃく	・そしゃく (×咀嚼)		・反らす
そしる	・そしる (×誹る)		体を反らす
そせい	・そ生、そせい (×蘇生)	た	・それ故
そそう	・粗相	たいがい	・そろえる (×揃える)
そそぐ	・注ぐ 水を注ぐ、力を注ぐ	だいいち	・存分
		たいけい	
		たいした	
			・大概
			・第一
			第一人者、健康が第一だ
			・だいいち
			～したくてもだいいちお金がない
			・大系 (テーマ別の一群の書物)
			古典文学大系
			・体系 (システム・組織)
			理論体系
			・大した

たいしょう	<ul style="list-style-type: none"> ・対照 (照らし合わせる、コントラスト) 両者を対照する、比較対照 ・対称 (つり合う、向き合う、シンメトリー) 対称の位置、線対称 ・対象 (目標・相手) 学生を対象にした雑誌 		<ul style="list-style-type: none"> 任に堪える ・耐える 重圧に耐える 困苦欠乏に耐える ・だ円 (×楕円) ・互い (～に) ・高まる 関心が高まる
だいじょうぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・大丈夫 	だえん	・たぐい (×類)
たいする	<ul style="list-style-type: none"> ・体する ～の意を体して 	たがい	・たくらむ (×企む)
たいせい	<ul style="list-style-type: none"> ・体制 (長期的仕組み) 社会の体制 ・態勢 (対応する構え) ～の態勢を整える ・大勢 (世の成り行き) 大勢に影響がない ・体勢 (姿勢・体の構え) 着陸体勢に入る 	たかまる	・蓄える
たいせつ	<ul style="list-style-type: none"> ・大切 	たぐい	水(金・食糧等)を蓄える
たいそう	<ul style="list-style-type: none"> ・大層 大層暑い 	たくらむ	・たくわえる
だいたい	<ul style="list-style-type: none"> ・大体 	たくわえる	水(金・食糧等)を蓄える
だいたいぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・大たい部 (×大腿部) 	たかまる	・たくわえる
たいてい	<ul style="list-style-type: none"> ・大抵 	たぐい	ひげをたくわえる
たいひ	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥 (×堆肥) 	たくらむ	知識をたくわえる
たいひ	<ul style="list-style-type: none"> ・退避 (一般的に) 安全な地点に退避する ・待避 (鉄道・交通などで) 待避所、待避線、 道路左側に寄って待避する 	たくわえる	・丈
たいへん	<ul style="list-style-type: none"> ・大変 	たけ	身の丈、背丈、丈比べ
だいぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・大分 	たけ	・たけ
たえない	<ul style="list-style-type: none"> ・堪えない 聴くに堪えない 	たけ	思いのたけ、ありったけ
たえず	<ul style="list-style-type: none"> ・絶えず 	だけ	・だけ
たえる	<ul style="list-style-type: none"> ・絶える 送金が絶える 子孫が絶える ・堪える 	たしか	できるだけ、一つだけ
		たしか	・確か
		たずさわる	確かに貸した
		たずねる	・たしか
		ただ	たしか三日前のことだ
		ただいま	・携わる
		たたかう	・尋ねる
			～について尋ねる
			・訪ねる
			恩師の家を訪ねる
			・ただ (×唯、只)
			・ただいま (あいさつ)
			(×唯今、只今)
			・戦う
			敵と戦う、グラウンドで戦う
			・闘う
			病氣と闘う、心の闘い
		ただし	・ただし ※ ただし書き
		ただす	・ただす (×質す)
			疑問をただす

たたずむ	・たたずむ (×竹む)		玉にきず、玉を磨く
ただちに	・直ちに		・球
たたみ	・畳		電気の球、球を投げる
たち	・たち (×達) 子どもたち (ただし、「ともだち」は、 熟字訓のため、「友達」 と表記する)		・弾 ピストルの弾
たつ	・断つ (続けていたものを) 思いを断つ、酒を断つ ・絶つ (続いていたもの・つなが りを) 命を絶つ、連絡を絶つ ・裁つ (布・紙を) 布を裁つ、着物を裁つ ・立つ (まっすぐになる) 演壇に立つ、立て続け ・建つ (建造物が) ビルが建つ、銅像が建つ ・たつ (×経つ、発つ) 時間がたつ、家をたつ	だます たまもの たまわる ため ためし だめ ためす たゆむ たより だれ たわい たんきゅう	・だます (×騙す) ・たまもの 苦心のたまもの ・賜る ・(～の) ため (×為) ・ためし 時間を守ったためしがない ・駄目、だめ ・試す ・たゆむ (×弛む) ・便り 学校便り、花便り ・だれ (×誰) ・たわい たわいのない話である
たつとい	・尊い (原則として、「貴い」は 使わない)		・探究 (見極め、研究) 真理の探究、探究心
たてかえる	・建て替える 家を建て替える ・立て替える お金を立て替える		・探求 (捜し求める) 事故の原因を探求する
たてまえ	・建前 家の建前 ・たてまえ 本音とたてまえ	たんけん	・探検 南極探検、探検隊 ・探険 (危険が伴う場合。一般的 には「探検」)
たとえ	・例え ～の例えを～ ・たとえ たとえ雨でも～	だんじて たんとう	・断じて ・短刀 (短い刀) 短刀で突く ・単刀 (一本だけの刀) 単刀直入
たとえば	・例えば	たんに たんねん たんのう だんらく	・単に ・丹念 ・たんのう (×堪能)
たばこ	・たばこ (×煙草)		・段落
たび	・度、たび この度は、度重なる		
たま	・玉		